

常任委員会の活動

企画総務委員会

開会日 12月1日(水)
12月8日(水)
12月13日(月)

案件 議案14件、報告5件

◆主な審査状況を紹介します。

可決 土地等の売却について

区民住宅供給事業の終了に伴い廃止するシテイハイム立花の土地等売り払うもの

立花四丁目集会所の今後は

問 併設されている立花四丁目集会所について、今後の利用はどのようなになるのか。

答 これまでどおりの使い方特に変更はない。

可決 (仮称)新保健施設等複合施設新築工事請負契約

(仮称)新保健施設等複合施設新築工事を施行するもの

品質はしっかり担保せよ

意見 コストは最大限効率化を図らなければならないが、この建物は少なくとも80年は使うものと考えられるため、品質はしっかりと担保し、かつ、建設費用の面では、施工業者及びその下請け業者が苦しい思いをしないようにしてほしい。

区民福祉委員会

開会日 12月7日(火)

案件 議案5件、請願1件、陳情1件、報告5件

◆主な審査状況を紹介します。

可決 立花ゆうゆう館の指定管理者の指定について

令和4年4月1日から5年間、社会福祉法人奉優会を同館の指定管理者に指定するもの

ボランティアマッチングとは

問 地域との連携事業の中に、インターネットを活用したボランティアマッチングというものがあるが、具体的にはどのような事業か。

答 法人が運営するインターネットサイトで、ボランティアをしたい個人等とボランティアをしてほしい施設等をマッチングするものである。

不採択 安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書の提出に関する請願

国民が安心して暮らせる社会実現のために、安全・安心の医療・介護・福祉提供体制を確保すること、保健所の増設など公衆衛生行政の体制を拡充し、保健師等を大幅に増員すること及び社会保険・社会福祉に関わる国庫負担を増額し、75歳以上の窓口負担2倍化を中止するなど国民負担を軽減することについて、国に対し、意見書の提出を求めるもの

現場では、常時人員が不足している

意見 医療も介護も現場では、平時から人員が不足しており、労働環境改善の更なる推進を求める必要があるため、採択としたい。

医師等の働き方改革が進められている

意見 医療現場等の厳しい労働環境については、一定の理解はしている。しかし、既に医療法改正による医師の働き方改革に向けた本格的な取組、介護報酬への確実な反映に向けた動き等もあるため、不採択としたい。

採択 固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続に関する陳情 外1件

小規模住宅用地に対する都市計画税の軽減措置、小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税の減免措置、商業地等における固定資産税及び都市計画税の軽減措置を、令和4年度以後も継続するよう、都に対し、意見書の提出を求めるもの

小規模事業者にとって必要な措置である

意見 小規模事業者は、区内でも深刻な状況にある。必要な措置であるため、採択としたい。

報告 墨田区新型コロナウイルスワクチン(3回目)接種の実施について

「新型コロナウィルスワクチン(3回目)接種実施計画」の策定に係る報告

無料接種可能期間の周知を

意見 国の方針では、無料接種の期間が9月30日までとされているが、1・2回目の接種が未了の方への無料接種可能期間の周知が必要ではないか。

地域産業都市委員会

開会日 12月6日(月)

案件 議案4件、陳情1件、報告14件

◆主な審査状況を紹介します。

可決 みどりコミュニティセンターの指定管理者の指定について

令和4年4月1日から5年間、J&J共同事業体を同センターの指定管理者に指定するもの

和室への椅子の設置について

問 地域住民から再三にわたり、和室に椅子を置いてほしいとの要望が出ているが、設置の見通しについて伺う。

答 今回、事業者による事業計画の中に、利用者からの要望に応え、和室に机と椅子を設置するという計画が提案されているため、今後協議を進めていきたい。

不採択 墨田区立花六丁目76番1,84番(地番)の中高層マンション新築工事計画に関する陳情

当該新築工事計画を変更するよう、事業者に行行政指導・行政処分をすること、当該新築工事計画を含む以後の新規中高層建築物の建築計画に際し、十分な時間をかけ、審査・再審査をすること、建築物の景観形成基準の各項目の理由を明確にし、適切な審査を行い、審査の経緯、判断基準を明確にし、過程と結果を近隣住民に報告すること及び「墨田区景観条例」に基づく景観形成基準を具体的数値で示し、当該新築工事計画を含め、以後、事業者及び住民に説明・周知徹底することを求めるもの

陳情者に寄り添った対応を

問 法令の状況から、不採択とせざるを得ないが、陳情者の思いをくみ取り、軟弱地盤への対応等について、しっかりと住民と事業者とが話し合いをできるような橋渡しをしてほしい。

答 関係所管間で連携を図り、住民・事業者間の橋渡しをしていく。

基準は示せるのでは

意見 「墨田区景観条例等に基づく区の判断基準について具体的に示し説明してほしい」という願意については、一般論で概ねこのくらいということとは示せると思うので、この部分については採択とすべき。

経過報告 墨田区におけるゼロカーボンシティ宣言と2030年度温室効果ガス削減目標引上げに関する陳情(令和3年度第2号)

陳情の要旨

2050年CO₂(二酸化炭素)実質排出ゼロを目指す墨田区長が表明(ゼロカーボンシティ宣言)すること及び2030年度の温室効果ガス排出量の削減目標を2000年度比50パーセント以上とするよう引き上げることを求めるもの

区の対応

令和3年10月5日に区長と議長が「すみだゼロカーボンシティ2050宣言」を共同表明した。また、2050年CO₂実質排出ゼロを見据え、2000年度比で2030年度までに50パーセント温室効果ガス排出量削減へと目標を引き上げる方向で検討を進めている。今年度末までに、「第二次すみだ環境の共創プラン」の中間改定において、温室効果ガス排出量削減の新たな目標を明示する予定である。

子ども文教委員会

開会日 12月1日(水)
12月3日(金)
12月13日(月)

案件 議案6件、報告6件

◆主な審査状況を紹介します。

可決 墨田区立学校施設使用条例(一部改正)

墨田区立学校施設の使用状況等を踏まえ、受益者負担の適正化を図るほか、1時間単位での「時間貸し」から「区分貸し」に変更することに伴い、使用料の上限額及び使用時間の区分を改正するもの

受益者負担の考え方について

問 受益者負担の適正化を図るということだが、何を基準に使用料の金額を決定しているのか。

答 教育区分における受益者負担率は、10パーセントで設定している。その考え方と23区の状況を踏まえ、金額を決定した。

学校施設使用の弾力的運用について

問 学校教育法では、「学校教育上支障のない限り」学校施設を使用させることができることとされており、この条例でも使用時間が午前9時からとされている。各施設の状況等に鑑み、昼間に授業がある場合でも、学校教育上支障がなければ、学校施設を使用させるという弾力的な運用をすることはできないか。

答 これまでは、児童・生徒と施設使用者の動線の分離に課題があると考えていたが、今後は、施設の状態等を踏まえ、運用を検討する。

決算特別委員会のもよう

決算に対する各会派等の主な意見

認定 自由民主党

令和2年度から実際に運用された内部統制制度について、決算審査意見書の指摘を重く受け止め、業務の効率化と適正な事務の執行等、より区民に信頼される区政実現のため、一層の改善を求める。

災害対策について、水害や地震への対策強化、要配慮者個別支援プランモデル事業の更なる発展的な事業展開等を求める。

知・徳・体の充実を図る教育の実現のため、GIGAスクール構想の推進とタブレットの効果的な活用、学力向上「新すみだプラン」の更なる推進等を求める。

健康寿命延伸に向け、墨田区の健康を取り巻く環境改善と、感染症も考慮したすみだ健康づくり総合計画の改定、特定健診等の積極的受診勧奨等を求める。

不認定 日本共産党

コロナ危機は、医療、介護、障害福祉、保育など、ケア労働の重要性を明らかにした。命を守るケアに手厚い区政へ転換を図るべき。

区は行財政改革として保健所検査業務の外部委託を進めるが、検査業務は自前で行うようにし、保健所機能の拡充を図るべきで、向島保健センターは存続させるべき。

我が党は区民の暮らしや営業を守るためには国等の対策の隙間を埋める自治体の支援策が必要であり、現金給付型施策等を繰り返し提案してきた。これを原則実施しないとする区の姿勢は改めるべき。

コロナ対策では、大規模なPCR検査等を実施し、無症状の感染者をいち早く見つけ、隔離・保護し、3回目のワクチン接種を迅速に進め第6波への万全な備えを求める。

認定 すみだの絆

区のコロナ対応は他自治体を取り組むものであり、区長をはじめとする執行機関の努力に感謝したい。第6波も予想されるため一層の対策強化と警戒を求める。

高齢者のデジタルデバインド対策、公共施設のWiFi環境整備等は、来年度予算に十分考慮してほしい。今後も区民目線で発信する区長であることを期待する。

認定 立憲民主党

各款別質疑等で申し述べた意見、要望等は、区民の声として受け止め、今後の区政運営に反映されることを望む。

令和4年度の区政運営では新型コロナウイルス対策はもちろんのこと、墨田区基本計画の後期4年の初年度として、SDGsの目指す持続可能で誰一人取り残さない社会を目指し、予算編成に当たってほしい。

認定 立憲民主党墨田区議団

多子世帯の一部給食費無償化や緊急事態宣言等の有事への対策としての給食費無償化を求める。

行き過ぎた校則による管理教育は、多様性の尊重等に逆行する。社会通念上適切と思われる選択について議論するよう要望する。

ヤングケアラーの啓発と早期対応のため、講義の実施と郵送アンケート調査での実態把握を求める。

認定 新しいすみだ

小学校での不登校児童が増えているため、早急に対策を要望する。

就学援助について、申請世帯が支援を確実に受けられるよう、申請基準や方法、申請者に対するサポートの再検討を要望する。

国民健康保険、介護保険等は年々保険料が上がり、区民の大きな負担となっている。無駄のない事業実施と効率化を強く要望する。

主な質疑

錦糸町駅北口の商業施設の放置自転車対策について

業態から自転車での来店が多いと考えられ、北口の歩道が狭い部分に放置自転車が増えると、通行人の妨げとなる。放置自転車対策を事業者側にしっかりと要請するべき。

錦糸町の駅周辺については、自転車放置禁止区域にもなっているため、違法駐輪や放置自転車が生じないよう、駐輪場確保等について、店舗側にも求めている。

家員転倒防止器具取付に関する周知啓発について

器具を取り付けることをただ周知するのではなく、器具を取り付けられないことの危険性を訴える必要がある。どのように情報を発信すれば届くのかをよく検討し周知してほしい。

令和2年度は、区のお知らせ、すみだ子育て支援アプリ、子育てに関する冊子への掲載等、様々なPRの方法を取り入れた。どのような方法が有効なのか引き続き検討したい。

ヤングケアラーの実態把握について

ヤングケアラー問題は本当に深刻である。区独自の調査を積極的に実施して早期に現状を把握し、行政の支援の手を差し伸べるべき。

要保護児童対策地域協議会において、ヤングケアラーの家庭の把握等に努めており、子どもと保護者に対する支援を関係機関と連携しながら迅速に行っている。そのため、独自に実態調査を行う考えはない。

小・中学校の給食費について

経済施策及び暮らしの安定性確保の観点から、多子世帯の一部

の給食費無償化やコロナ等のいわゆる有事の際の当該学期の給食費無償化等を実施するべき。

学校給食法に規定されている学校給食の目的は、生徒等の健全な心身の発達と、食に対する正しい理解と適切な判断力を養うことである。同法を根拠とし学校給食費をご負担いただくことは適当と考えている。

高齢者のデジタルデバインド対策について

区のユーチューブ等、様々な広報媒体での発信は評価するが、高齢者が携帯電話を使えず、情報を受け取れないことは問題である。高齢者への講習会等を早急に実施するべき。

高齢者のデジタル機器の取扱い等は課題であると考えている。大学等とも連携し、誰一人取り残さないという意気込みで全庁を挙げて取り組んでいきたい。

民間施設への期日前投票所設置について

昨今、期日前投票に行く人が増えてきており、他自治体では百貨店等での期日前投票所の設置例もある。本区でもこのような投票所を設置していただきたいと思うがどうか。

民間施設については、会場確保が確実にできるかが一つの課題である。今後、他自治体の例も踏まえ研究していきたい。

英語教育等への協力について

iU（情報経営イノベーション専門職大学）には、区から用地を提供する等、大きな支援をしている。iUからも、同校が力を入れている英語教育等の区民の関心が高い分野で目に見える形で貢献をしてほしい。

同大学の3本柱と言われているICT、ビジネス、グローバルコミュニケーションの知見を幅広く区民に還元できるよう協議を進めたい。

主な委員間討議

千葉大学への期日前投票所設置について

賛同の意向もあったが、区の検討状況を見てから判断するべきであるとの意見もあり、区に対し、参議院選挙を目的に、検討状況について議会に報告を求めることで合意した。

出張所への受付番号発券機及びキャッシュレス決済の導入について

発券機導入は区に対し、検討を求めることで合意した。一方、キャッシュレス決済の導入については、一定の検討が必要であるとの意見もあり合意には至らなかった。

キャッシュレス決済促進・ポイント還元事業第3弾の実施の是非について

財源、キャッシュレス決済の手段、高齢者対応、ポイントの還元率、実施期間等について検証が必要であるとの意見もあったが、区に対し、これまでの2回の取組を検証の上、前向きな検討を求めることで合意した。

高齢者のデジタルデバインド対策と公共施設のWiFi環境の整備について

各委員とも賛同の意向であり、区に対し、デジタルデバインド対策の実施及び公共施設のWiFi環境整備を求めることで合意した。

委員間討議について

これまでの委員会審議では、議員が区長等に対して質疑を行うことが中心でしたが、これに加えて、委員同士で討議を行い、議論を深め合意形成を図ることで、より実りある審議を実現することとしています。

新しい年を迎えて、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。
日頃より、区議会公明党にご支援、ご協力を賜り、心より感謝御礼申し上げます。
一昨年から続く、コロナウイルス感染症に対し、区議会と行政側が丸くなって、皆様の健康と安全な生活の実現に向けて、尽力をいたしました。
より良い墨田区を目指し、公明党の議員は、区民の皆様の「小さな声を聴く力」を発揮するため、地域の中に入り、ご意見、ご要望を聴くことに徹し、区政の改善を目指してまいります。
私たち墨田区議会も、区民の皆様に信頼されるよう、不断の努力を続けてまいります。
本年も、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



公明党
幹事長
高橋 正利

日頃から墨田区議会自由民主党にご支援を賜り、心より御礼申し上げます。
また、新成人の皆様、誠におめでとうございます。
今年こそ、新型コロナウイルス感染症が収束し、区民の皆様がいち早く日常を取り戻すことができることを期待しています。
私達は、3回目のワクチン接種等感染症対策へ最大限の協力をするともに、産業支援、学校教育、福祉施策等、あらゆる分野で適切な時期や方法で施策を展開できるよう積極的な政策提案を続けてまいります。
私達は区議会最大会派として13名全員が一丸となり、山積する区政の課題に引き続き責任を持って取り組みます。
本年も、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



自由民主党
幹事長
加藤 拓

会派等の所属議員		
略称	会派名等	所属議員名(五十音順)
自民党	墨田区議会自由民主党	冲山 仁、加藤 拓、かんだすなお、木内 清、坂井ひであき、坂井ユカコ、佐藤 篤、しもむら緑、たきざわ正宣、田中邦友、樋口敏郎、福田はるみ、藤崎こうき
公明党	墨田区議会公明党	おおこし勝広、加納 進、じんの博義、たかはしのりこ、高橋正利、とも宣子、はねだ福代
共産党	日本共産党墨田区議会議員団	あさの清美、高柳東彦、としま剛、はらつとむ、山下ひろみ
立憲墨	立憲民主党墨田区議団	渋谷ちしゅう、中村あきひろ
きずな	地域連合「すみだの絆」	田中 哲
墨立憲	墨田区議会立憲民主党	あべきみこ
墨田オ	墨田オンプズマン	大瀬康介
新すみ	新しいすみだ	井上ノエミ
無所属	無所属	堀よしあき

皆様におかれましては、新しい年をいかがお過ごしでしょうか。
今年こそコロナを収束させ、明るく年にしたいものです。
そのためには、
・感染源をなくす（検査・隔離）
・感染経路を遮断する（水際作戦）
・宿主の免疫をつける（ワクチン）
ことが、大切です。
さらには、経済的な保障やケア労働の待遇改善なども待ったなしです。
しかし、区政でも新自由主義による自己責任の押し付けで、命や暮らし、営業を守る役割が弱まっています。
「こういう政治で良いのか」という声を広げ、暮らし優先の区政への転換を求めます。
本年も、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



日本共産党
幹事長
はらつとむ

墨田区議会各会派
今年の抱負

令和3年度定例会11月議会 議決議案等の審議結果 ○賛成 ×反対

件 名			会派名等 () 内は所属議員数									議決結果
			自民党	公明党	共産党	立憲墨	きずな	墨立憲	墨田オ	新すみ	無所属	
			(13)	(7)	(5)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
区 長 提 出 議 案	報 告	令和2年度墨田区一般会計歳入歳出決算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	認定
		令和2年度墨田区国民健康保険特別会計歳入歳出決算	○	○	×	○	○	○	×	○	○	認定
		令和2年度墨田区介護保険特別会計歳入歳出決算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	認定
		令和2年度墨田区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	認定
	予 算	令和3年度墨田区一般会計補正予算（議案第32号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		令和3年度墨田区一般会計補正予算（議案第33号）	○	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
		令和3年度墨田区国民健康保険特別会計補正予算	○	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
		令和3年度墨田区介護保険特別会計補正予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
		令和3年度墨田区後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
		令和3年度墨田区一般会計補正予算（議案第59号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
		墨田区道における移動等円滑化の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	条 例	墨田区保育所条例の一部を改正する条例	○	○	×	×	○	○	○	○	○	可決
		墨田区立学校施設使用条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
		墨田区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
		会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
		幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
		財産の交換について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		土地等の売払いについて	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
		（仮称）新保健施設等複合施設新築工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	契 約	旧たちばな高齢者在宅サービスセンター全階内装改修その他工事請負契約	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
		曳舟小学校プール棟改築工事請負契約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		立花ゆうゆう館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		みどりコミュニティセンターの指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
	そ の 他	八広地域プラザの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		八広児童館の指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	○	×	○	○	可決
		江東橋児童館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
		墨田区立緑図書館、墨田区立立花図書館及び墨田区立八広図書館の指定管理者の指定について	○	○	×	×	○	○	○	○	○	可決
		特別区人事及び厚生事務組合規約の変更に係る協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		損害賠償の額の決定について	○	○	×	×	○	○	○	○	○	可決
		特別区道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員 提出 議案	意見書	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	請願	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書の提出に関する請願	×	×	○	○	○	×	○	×	×	不採択
	陳 情	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続に関する陳情 外1件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
		墨田区立花六丁目76番1, 84番(地番)の中高層マンション新築工事計画に関する陳情	×	×	一部×	×	×	×	×	×	×	不採択

【観覧募集】新日本フィルハーモニー交響楽団のミニコンサートを本会議場で開催

墨田区議会では、コンサートホールからすみだのまちかどに出向いて本格的な音楽に触れる機会を提供する新日本フィルハーモニー交響楽団と共催で、本会議場でのミニコンサートを開催します。観覧をご希望の方は、以下の要領によりお申込みください。
【催し名】 令和3年度2月議会開会前コンサート
【日時】 令和4年2月4日（金）午後0時10分から（約30分間） 【場所】 墨田区議会本会議場（区役所19階）
【対象】 どなたでも 【定員】 60人（応募多数の場合は抽選） 【費用】 無料
【申込方法】 催し名・住所・氏名・電話番号を、はがき、FAX又はメールで1月21日（金）（必着）までに、以下の申込先までお送りください。
【申込先】 新日本フィルハーモニー交響楽団事務局パトロネージュ部（〒130-0013墨田区錦糸1-2-3）
FAX：5610-3825／メール：culture@njp.or.jp
【問合せ先】 新日本フィルハーモニー交響楽団事務局／☎5610-3820（問合せのみ）
＊月曜日～金曜日の午前10時～午後6時（祝日を除く）
【その他】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言等が発令される見込みとなった場合、中止または延期となる場合がございます。また、参加に当たっては、マスクの着用や手指消毒等、感染症対策にご協力ください。



昨年度の区議会本会議場コンサートのようす